

平成23年9月29日

アイランドシティ土壤調査専門委員会

委員長 浅野 直人

委員 島田 允堯

委員 神野 健二

委員 槇田 裕之

アイランドシティ土壤調査の結果について

平成23年8月24日に実施したアイランドシティ土壤調査の結果（別紙）について、アイランドシティ土壤調査専門委員会として下記のとおり評価する。

記

このたび調査を行った福岡市2工区の4地点すべてにおいて、水銀・砒素・鉛の含有量、溶出量ともに土壤汚染対策法の基準値を下回っていた。

これまで、アイランドシティで5回の調査を行ってきた結果、各調査地点での重金属類の濃度は北部九州域の通常地域における自然の土壤の状況とほぼ同様であり、土壤による人の健康に係る被害を生ずるおそれはないことを認めた。従って、アイランドシティの土地を通常土地と同様に様々な目的に利用することについては、特段の問題はないと判断する。

なお、今回をもって予定していた調査は終了となるが、今後、従前と同様の土砂を用いて埋立を行った土地については、重金属類の量の調査を行う必要はないと考える。

アイランドシティ市 2 工区土壤調査結果

【結果】

全て土壤汚染対策法の基準値未満であり、
その値は不検出もしくは定量下限値程度であった。

■土壤含有量試験（第 2 種特定有害物質：水銀、鉛、砒素）

特定有害物質が含まれる汚染土壤を、一生涯にわたって直接摂取（経口、呼吸等）し続けても健康に影響が現れない土壤含有量基準値との比較

単位:mg/kg

	土壤含有量 基準	A	B	C	D	定量下限値
水銀及びその化合物	15 以下	ND	ND	ND	ND	0.02
鉛及びその化合物	150 以下	3	4	2	3	1
砒素及びその化合物	150 以下	ND	2	ND	1	1

ND：不検出（定量下限値を超えて検出されなかったもの）

■土壤溶出量試験（第 2 種特定有害物質：水銀、鉛、砒素）

土壤からの特定有害物質の溶出に起因する汚染地下水等を、人（体重 50kg）が毎日 2 リットルを一生涯にわたって飲み続けても健康に影響が現れない溶出量基準値との比較

単位:mg/L

	土壤溶出量 基準	A	B	C	D	定量下限値
水銀及びその化合物	0.0005 以下	ND	ND	ND	ND	0.0005
鉛及びその化合物	0.01 以下	ND	ND	ND	ND	0.005
砒素及びその化合物	0.01 以下	ND	ND	ND	0.005	0.005

ND：不検出（定量下限値を超えて検出されなかったもの）

【調査年月日】 平成 23 年 8 月 24 日（水）

【調査地点図】

